

福祉サービス第三者評価基準

【 共 通 版 】

(様式2)

H27年4月1日改定

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		自己評価
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	(a)・b・c
評価概要 理念「ご利用者様が感動、ワクワク、達成感を実感して頂ける施設を目指します。少しずつ元気が出てくると、心も体も自然に動くようになり、生きがいや目標、使命感が生まれると自立活動ができ、自分でできる幸せ、感動を感じていただくという本来の目的を達成するための新しいサービスをご提案します。」と掲げ、サービス内容や特徴を踏まえた法人の使命や目指す方向、考え方が明確に示され、ホームページにも明記されている。		

I-2 経営状況の把握

		自己評価
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a (b) c
評価概要 地域包括支援センター、老人会、居宅介護支援事業所等と連携し、利用者の状況や困りごと等、地域のニーズ把握に努め、充実して継続利用と新規利用者の確保等に繋げている。毎月の利用人数、1日平均利用者数、前年度から増減等を把握して運営状況の分析を行っている。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a (b) c
評価概要 毎月の経営会議を開催し、事業所経営や業務改善に向けた取り組みを行っている。		

I-3 事業計画の策定

		自己評価
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	(a)・b・c
評価概要 3年おきに介護保険制度が改正される上で、明確に計画を立てる事が困難だが、長期計画、中期計画、短期計画を策定し事業所の将来のビジョンを明確にし、安定経営を目指している。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	(a)・b・c
評価概要 計画の実施状況や目標達成状況を確認し、その結果を踏まえて計画の見直しを行っている。		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	(a)・b・c
<p>評価概要</p> <p>職員会議で事業計画の内容を説明を行い、事業所の理解し職員一人ひとりが意識を持ち速やかに実施できるように取り組んでいる。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	(a)・b・c
<p>評価概要</p> <p>家族会の中で事業計画の内容を説明し、利用者にも分かり易く内容を説明している。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		自己評価
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・(b)・c
<p>評価概要</p> <p>定期的に研修会を実施。職員のスキルアップや業務の効率化・改善等は見直しを行っている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・(b)・c
<p>評価概要</p> <p>事業所として改善点を今後どのように取り組んでいくか、一つ一つ検証を行い、取り組む内容を明確化し、職員全員に説明できる体制を目指している。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		自己評価
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	(a)・b・c
<p>評価概要 施設長は事業所の責任者として、事業所運営が実施できるように役割と責任を職員全員に理解してもらい、施設長不在時には代理を指名し、日常業務に支障がきたさないように体制を取り組んでいる。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	(a)・b・c
<p>評価概要 管理者は施設運営上の法令（介護保険法、労働基準法等）を十分理解し、他事業所の管理者との連携を図っている。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	(a)・b・c
<p>評価概要 事業者が実施している介護サービスの内容や職員の能力を施設長が把握し、問題点や今後の取り組みを職員と健闘し、サービスの提供を目指している。また、職員の意見や要望、アイデア等を取り入れ、事業所の運営や業務改善に反映できる取り組みを行っている。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	(a)・b・c
<p>評価概要 事業所の人事や財務、業務について把握し、指導力を発揮して、職員一人ひとりの特技や能力に合わせた適材適所の役割分担を行い、働きやすい職場を目指している。業務改善を職員が理解し、実践に向けて取り組んでいる。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		自己評価
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	(a)・b・c
<p>評価概要 事業所が人材確保が出来る募集体制を確立し、ハローワーク、公的機関、職員からの紹介、学校関係への募集等、職員の安定した人材体制の確保を目指している。職員一人ひとりのライフスタイルや健康状態、能力を踏まえて働き方の相談に応じ、働きやすい職場作りを行っている。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	(a)・b・c
<p>評価概要 理念や基本方針に基づいた介護に対する取り組みを説明し、事業所での採用、配置、昇進等の基準を明確化している。</p>		

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	(a) b · c
<p>評価概要 毎月のシフトは職員の意向・希望を聞き管理者が作成し、働きやすい職場になるよう取り組んでいる。休憩時間・休憩場所の確保、マニュアルの見直しや業務改善等を行い、福利厚生や健康診断、感染予防接種など実施している。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	(a) b · c
<p>評価概要 研修や資格取得ができるよう取り組みをしている。職員それぞれが目標を設定して業務に取り組んでいる。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a (b) · c
<p>評価概要 年間の研修や教育について具体的な計画を作成し、職員の敬虔や習熟度に合わせて外部や内部の研修を受講して貰い、組織全体の介護力を向上に繋げている。また、資格取得のバックアップ体制も整い、職員の意欲を高める環境を整備している。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a (b) · c
<p>評価概要 職員の研修や教育の場を確保し、職員の介護技術の向上と知識の取得を目指している。施設長は、定期的に職員と個人面談や人事考課を実施している。職員一人ひとりが目標を掲げ、達成状況についても確認を行っている。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	(a) b · c
<p>評価概要 実習生の受け入れや実習内容については、学校関係者と話し合い、カリキュラムに沿った教育が実施できるように取り組んでいる。実習担当職員を配置し、利用者の安全の確保と事故防止に努め、実習生に対しては休憩や実習記録の記載時間を設ける等、無理のない実習スケジュールを組み、職員に対しても実習性の1日のスケジュールを周知し共有している。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		自己評価
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	(a) b · c
<p>評価概要 ホームページを活用し、理念・基本方針、情報の公開が行われており、透明性の確保に努めている。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	(a) b · c
<p>評価概要 経理においては税理士事務所に委託しており、毎月のチェック、実績報告、財務管理のアドバイスが行われ、経営改善を実施しています。</p>		

Ⅱ－４ 地域との交流，地域貢献

		自己評価
Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 地域住民の見学の受け入れ等、地域との関わりを大切にしています。事業所では計画的に職員同行での利用者との買い物や遠方への外出があり地域社会とのつながりを維持するため取組を行っている。</p>		
24	Ⅱ－４－（１）－② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要 事業所と地域を繋ぐ柱として、ボランティア団体の受け入れを行い、登録、申し込み手続き、配置、利用者や家族の理解と承諾を得る等の取組を行っている。傾聴ボランティア、フラダンス、大正琴、踊り等の楽しい活動が行われている。</p>		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ－４－（２）－① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 行政機関や団体と連携し地域の社会資源を活用し、福祉事務所、保健所、ハローワーク、病院、地域の他事業所等と社会資源を利用したネットワークを構築を目指している。</p>		
Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ－４－（３）－① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 子供110番や地区の避難場所に指定され、頼りになる事業所を目指している。また、地域のサロンに職員を派遣し、参加者が健康体操・歌を歌う等、楽しく過ごせるように運営にも積極的にかかわっている。</p>		
27	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 地域の介護予防事業として民生員と連携し、地域の公民館に出向き地域住民に対して健康教室や介護相談等に取組み、地域福祉のニーズを把握して地域貢献に取り組んでいる。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

		自己評価
Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 事業所の理念、基本方針、職員心得等に利用者の尊厳を守る介護について明記し、職員は常に意識して介護サービスの提供に取り組んでいる。利用者尊重について職員の理解を深め、実践するため勉強会（接遇、身体拘束、虐待防止）等を実施し、知識の取得に努めている。</p>		

29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 利用者のプライバシーに関する規定・マニュアルを作成しており、勉強会を実施している。利用者一人ひとりが持っている個性や生活習慣を尊重し、職員の細かな対応が利用者のプライバシーの確保に繋がり、利用者のプライドや羞恥心に配慮しています。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用者希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 事業所のパンフレットや必要な情報を掲示し、利用希望者や家族に分かりやすく説明できるように取り組んでいる。また、見学や体験利用が受けられる制度を整え、サービス選択に必要な情報提供が出来る取り組みを行っている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 サービス開始にあたってはパンフレット、重要事項説明書及び契約書を使用し、わかりやすく丁寧に説明する事を心掛けている。サービス内容や利用金、加算等については特に詳しく説明を行い、同意を得ての利用開始としている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・Ⓐ・c
<p>評価概要 利用者の体調や排便の情報などは、送迎時に家族側からも必要な情報や連絡帳で提供され、利用者の一日の出来事を把握できるよう申し送りを行っている。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・Ⓐ・c
<p>評価概要 職員は日常のサービス提供時間内で、利用者の表情や言動の観察し、不満足の有無を確認し、そのサインを見逃さないように随時対応している。その都度満足度調査を実施し管理者が利用者及び家族と話す機会を設け満足度の確認している。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・Ⓐ・c
<p>評価概要 利用契約時に重要事項説明書に記載された苦情相談窓口について説明を行っている。意見箱を設置し、家族や来訪者から意見や要望、苦情等を投函して貰い、関係者で検討しサービス向上を目指している。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 職員は利用者信頼関係を築き、話しやすい関わりの中で、利用者の思いや意向、心配事等を聞き取り、関係者で共有している。また、相談室を設置して、利用者の相談が気軽に出来る環境を整えている。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 利用者の思いや要望、苦情を汲み取り、内容に合わせ速やかな解決を行っている。また、日々の朝礼・終礼でその都度状況を報告する事で職員間の共有を図っており、利用者が満足できる取り組みを行っています。</p>		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a (b) c
<p>評価概要 利用者の安心と安全確保を目指し、事故を未然に防ぐためのヒヤリハットや職員の気付きや観察力に取り組んでいる。日常の介護でのヒヤリハットや事故報告は職員間で回覧し情報共有し、振り返りや改善を図り再発防止に向け取り組みを行っている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	(a) b c
<p>評価概要 感染症に関するマニュアルを作成し、迅速な体制が出来るよう整え施設全体で利用者の安全確保のため、日々のフロアチェックを行い、整理整頓と清潔の保持に努めている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に 行っている。	(a) b c
<p>評価概要 非常災害時に利用者が安全に避難できる訓練を実施し、マニュアルを整備して、職員一人ひとりが利用者の安全確保に取り組み、冷静な判断と行動出来るよう努力している。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		自己評価
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	(a) b c
<p>評価概要 利用者の日課は一覧表として掲示しており、職員は1日のサービス提供の実施手順として参考にしている。送迎、入浴介助、排泄介助マニュアル等の業務マニュアルが整備を行い、職員全員がサービスの質の向上に取り組み、利用者が安心してサービスを受けられる体制を目指している。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	(a) b c
<p>評価概要 標準的な実施方法の見直しについては、サービスの改正や支障が生じた場合にその都度見直しすることとしている。また、介護計画では実施状況や目標達成状況を確認し、その結果を踏まえて、介護計画の見直しを行っている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	(a) b c
<p>評価概要 利用者の生活状況や心身の状態を把握し、記録している。個別計画には、利用者及び家族の意向とニーズを明記しており多職種と共に目標や目標達成のため対応策を策定している。メンタル面での支援も行い、実施状況の評価、改善に向けたサービス提供に取り組んでいる。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	(a) b c
<p>評価概要 サービス実施計画の評価・見直しについては、運営規定及び介護保険法に基づき実施している。見直しを行う時期は、介護支援専門員が作成した短期目標を参考し実施している。見直しの必要な場合は、利用者及び家族の意向を確認し同意を得ている。職員には、ミーティングを行い周知している。</p>		

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○ a · b · c
<p>評価概要</p> <p>利用者の利用日や心身の状態、健康状態、実施内容等はチェック方式を用いて記入し易く工夫し記録している。利用者に関する情報は、申し送りや申し送りノートで共有化している。報告書はパソコンで管理を行い、情報共有している。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○ a · b · c
<p>評価概要</p> <p>プライバシーに関するマニュアルや規定を定めており、サービス利用開始前に利用者及び家族には重要事項説明書、契約書を使用し説明を行い同意を得ている。職員に対し、毎年教育や研修を実施している。</p>		

福祉サービス第三者評価基準

【 高齢者福祉サービス版 内容評価項目 (通所) 】

H29.5.1改訂

A-1 生活支援の基本と権利擁護		
A-1-(1) 生活支援の基本		自己評価
	A-1-(1)-① 利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	Ⓐ・b・c
	A-1-(1)-② 利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>A-1-(1)-①について レクリエーションや活動については、年間計画を立てており、利用者が選択して参加できるように取り組んでいる。利用者が安心して過ごせるように接遇研修を行い親切・丁寧な関わりができるように配慮している。</p> <p>A-1-(1)-②について 利用者との意思疎通については、筆談やひらがな表を使い伝えられる機会や環境を整え常に寄り添った対応を行っている。</p>		
A-1-(2) 権利擁護		自己評価
	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	Ⓐ・-・c
<p>評価概要</p> <p>身体拘束、高齢者虐待防止のマニュアルを作成し、施設内研修を行っている。</p>		
A-2 環境の整備		
A-2-(1) 利用者の快適性への配慮		自己評価
	A-2-(1)-① 福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>ホール内は、利用者にとって居心地の良い場所となり、利用者の希望するカラオケやビリヤードも準備され快適に過ごせるように環境を整え、利用者が自分の居場所を選択できるようにしている。</p>		
A-3 生活支援		
A-3-(1) 利用者の状況に応じた支援		自己評価
	A-3-(1)-① 入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
	A-3-(1)-② 排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
	A-3-(1)-③ 移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>A-3-(1)-①について 入浴介助マニュアルに基づき入浴前にバイタルチェック・利用者の意向を確認し、安心して安全に入浴ができる環境を整えている。入浴の順番は、利用者の意向を尊重しプライバシー確保や声掛けを行い対応している。</p> <p>A-3-(1)-②について トイレ内は手すりやパーが設置され安心や安全な環境を整えている。</p> <p>A-3-(1)-③について 定期的に福祉用具の整備や点検を実施し、利用者の心身の状況に合わせて移乗・移動動作ができるよう安全面の配慮を行っている。</p>		

A-3-(2) 食生活		自己評価
	A-3-(2)-① 食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a (b) c
	A-3-(2)-② 食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	(a) b c
	A-3-(2)-③ 利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>A-3-(2)-①について 食事提供については、外部業者を委託しており栄養バランスを考えた献立を作成されており利用者の安全性を考えて提供している。食事の座席は利用者の意向に沿い楽しい雰囲気の中で食事が出来るようにしている。</p> <p>A-3-(2)-②について 利用者の咀嚼や嚥下状態に合った食事提供をし、食事時の事故を防ぐため、毎回食事前に口腔体操や口腔マッサージに取り組んでいる。</p> <p>A-3-(2)-③について 口腔ケアは全員に行っていないので今後の取り組みで誤嚥・誤嚥性肺炎を防ぐため、口腔ケアに関する研修を実施する予定。</p>		
A-3-(3) 褥瘡発生予防・ケア		自己評価
	A-3-(3)-① 褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>入浴、排泄時は皮膚の状態を観察し、変化時は看護師に報告しており、他職員には情報共有している。</p>		
A-3-(4) 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養		自己評価
	A-3-(4)-① 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	a (b) c
<p>評価概要</p> <p>対象の利用者が居ない為実施等はないが、喀痰吸引マニュアルや研修会の機会がある。</p>		
A-3-(5) 機能訓練、介護予防		自己評価
	A-3-(5)-① 利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	(a) b c
<p>評価概要</p> <p>機能訓練指導員が中心となり、利用者の心身の状況に合わせた個別機能訓練のプログラムを作成し、プログラムに沿って訓練の実施・評価・見直しをしている。看護師を機能訓練指導員と位置付け日常生活動作の維持を目指した生活リハビリの指導を行っている。</p>		
A-3-(6) 認知症ケア		自己評価
	A-3-(6)-① 認知症の状態に配慮したケアを行っている。	(a) b c
<p>評価概要</p> <p>行動や表情の観察を行い見守りや話の傾聴し安心できるように声掛けを行っている。利用者に応じて、洗濯物をたたみをしてもらう役割や活動内容にも工夫している。また、利用者の状況を職員間で情報共有できるように努め、知識や最新の情報が得られるよう認知症の研修にも取り組んでいる。</p>		
A-3-(7) 急変時の対応		自己評価
	A-3-(7)-① 利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	(a) b c
<p>評価概要</p> <p>利用者の体調変化に早期発見できるように、バイタルチェック、表情の確認、体調の聞き取り等を行い記録している。緊急時には、家族、介護支援専門員、医師に連絡を行っている。</p>		
A-4 家族等との連携		
A-4-(1) 家族等との連携終末期の対応		自己評価
	A-4-(1)-① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	(a) b c
<p>評価概要</p> <p>利用者家族とは、連絡帳や送迎時に報告、要望等の情報交換を積極的に行っている。</p>		